

平成26年度 第1回政策推進会議報告

日 時 4月7日 9時30分～10時11分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 第2次尼崎市食育推進計画の策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

医務監から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・計画の策定にあたって課題となっているのが、子ども以外の層に対しての取組が少ないという点だが、資料2では成人を対象とした事業が全て同じようなレベルで羅列されている。しかし、各事業の重みは違うはずなので、事業内容を整理し、重点化して実施する事業がわかるようにすることが大事だと思う。また、子どもの時の食生活が成人につながるということもあり、対処としての成人への取組と、未然予防としての子どもへの取組を重点化しないといけないのではないか。

子どもが対象ということは必ず親も対象になるので、子どもと一緒に親の意識が高まることで、親の検診受診率が増加するなど関連しているところがある。

(市長)子どもがいない成人へのアプローチも課題として挙げられる。計画を策定する際には、考え方を整理した上で事業も整理するのが良い。また、今までは運動を中心としていた健康づくり推進員が新たに加わっており、運動と食事をセットで推進していくことが1つの方法かと思う。健康づくり推進員には、地域の中で自らも含めた壮年期・高齢期の取組にあたっていただきたい。それから、資料1の目標値自体も国の数値や実績に応じて見直すことになると思うが、家庭から出る台所のゴミの量には目標数値を入れてほしい。あと、学校給食における米飯給食の回数を、週3回を目標値とし、実績値では3.5回ということで目標達成しているが、和食中心ということを経済の中心に据えるのであれば、米飯給食は週何回が適切なのかということ再度議論していただきたい。

- ・近年、食に対する知識が欠けたまま大人になっている人が多く、食に対する知識を次世代に渡せていないこともある。世代をつないでいくという観点からも、食育について議論しなければいけない。

(市長)毎年食育フェアが開催されているが、非常に良い取組が行われているので、食育フェアに足を運ぶことができない人にも内容を広めてほしい。

2 その他

- ・防災担当局長から、地域防災計画に係る意見募集について説明。
- ・防災担当局長から、兵庫県独自の南海トラフ被害想定の上昇について説明。
- ・教育長から、ロボカップジュニアジャパン全国大会について報告。
- ・資産統括局長から、本庁舎事務所配置について説明。
- ・市民協働局長から、各審議会等における男女共同参画について説明。

以 上